

あらかるあーと展に3作品を出展しています



札幌市知的障がい福祉協会アート展
第16回
あらかるあーと
～いろとりどり個性のかがやきあらかるあーと～
2016年1月15日金-17日日
さっぽろ地下街オーロラスクエア

近年、障がいのある方が制作した美術作品を「アールブリュット（生の芸術）」と呼ぶなど、ひとつのジャンルとして認識され始めています。

われわれは、まだまだそのような認識がなかった16年前から、障がいのある方が「自分で描いたもの・みんなで創ったもの」を発表する機会がほしいと、アート展を営んできました。

わずか3日間の開催ですが、本アート展では、より多くのおみなさんに足を運んでいただき、画に作品と接してもらえらることを願っています。障がいは見方を変えれば個性です。その個性から生み出される作品は、さまざまな印象をおみなさんに与えることでしょう。これがきっかけとなっておみなさんの世界が広がります。障がい福祉への理解が深まるならば、これ以上に幸せなことはありません。今後も多くのおみなさんと触れ合う機会として、毎年継続して開催していきたいと考えております。

本アート展の作品は、あくまで「一個人」もしくは複数による「合作」で、施設の代表であったり、選抜された方だけというわけではありません。そのため展示中の作品につける作品札は、作者と作品名の表記のみとし、施設名は記載しておりません。障がい福祉施設等に所属されていない方も作品を出展しています。これは「施設の中の福祉」ではなく「開かれた福祉」を目指したいという私たちの意志の表れです。

札幌市知的障がい福祉協会



一部（いやかなり）お見苦しい顔が入り込んでおりますことをお詫び申し上げます…。



忘れてはなりません。ゆいが誇るアーティスト・副所長中村修一も、この1月、2つの作品展に出品しております。左右の写真がそれです。ここでもあやしげな男が写りこんでおります。たいへん申し訳ございません。ちなみに写真撮影はゲリラのようにダダダーッと行ってしまいました。関係者のみなさん、本当にごめんなさい。

全責任：加藤 潔

